



■ごあいさつ

私たちは、「想いを、カタチに」という理念のもと、日々、「カタチづくり」に取り組んでいます。「想い」とは、お客様一人ひとりが抱く夢やビジョン、そしてストーリーです。私たちは、その貴重な"想い"に真摯に耳を傾け、深く理解し、共感することを何よりも大切にしています。お客様との対話を通じて、互いの考えや要望を尊重し合いながら、より良い協力関係を築いていきます。

"カタチ"は、私たちが提供する製品やサービス、そしてソリューションの総称です。安心・安全はもちろんのこと、美しさと機能性を兼ね備えた快適な空間づくりを目指しています。また、建築・建材にとどまらず、幅広い分野でお客様のニーズにお応えします。どのような"カタチ"であっても、お客様と共に歩み、実現に向けて全力を尽くします。

「想いを、カタチに」このシンプルでリズムカルな言葉には、私たちの姿勢が込められています。お客様の"想い"を大切に受け止め、それを目に見える"カタチ"としてつくりだす。そして、その挑戦に終わりはありません。これからも、皆様の想いに寄り添い、共に新たな価値を創造し続けてまいります。

どうか、皆様の"想い"をお聞かせください。



カネソウ株式会社
代表取締役社長
豊田 悟志

基本理念

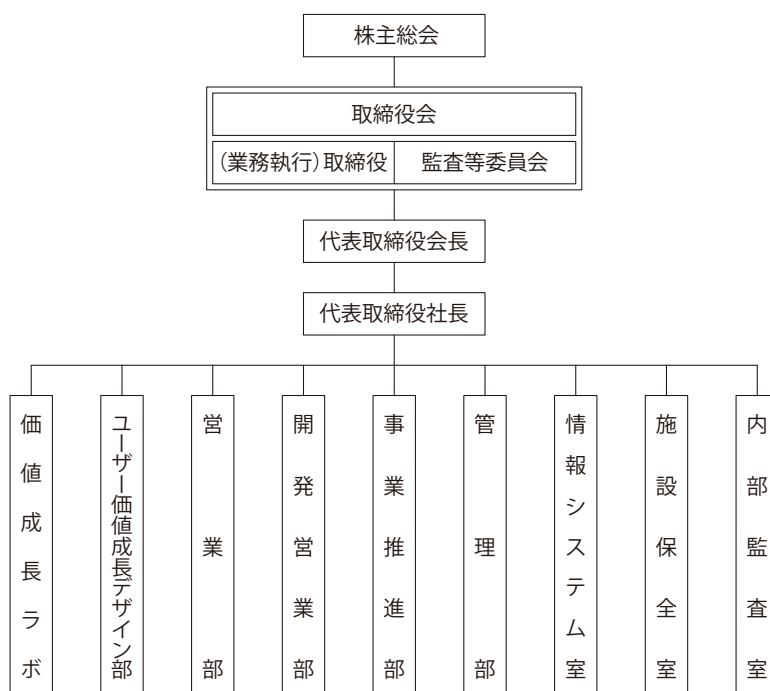
社是

覇道を行わず、常に王道に順う

社訓

- 一、すべてに誠実であれ
- 一、仕事に厳しさを求めよ
- 一、和を貴び礼節を正せ
- 一、常に謙虚であれ

組織



■会社概要

社 名 **カネソウ株式会社**

本社所在地 〒510-8101
三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
TEL 059-377-4747
FAX 059-377-5684

代 表 者 代表取締役社長 **豊田 悟志**

創 業 大正11年 2月

設 立 昭和54年10月

資 本 金 18億2,000万円

株 式 名古屋証券取引所メイン市場上場 証券コード：5979

事 業 目 的 建築・防災・都市景観整備・環境・福祉・緑化関連製品・産業用鋳物の製造及び販売

事 業 所 東京支店・大阪営業所・仙台営業所・福岡営業所

従 業 員 数 267名(令和8年3月現在)



●本社社屋

■沿革

- 大正 11年 2月** 三重県桑名市大字桑名344番地に於て、現名誉会長小林昭三の父 小林惣太郎により創業。
- 昭和 45年 3月** 小林鋳造株式会社を設立。
- 昭和 54年 10月** カネソウ株式会社を設立。
- 昭和 63年 4月** 小林鋳造株式会社が日本工業規格表示許可工場(JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品)に認証される。
- 平成 3年 3月** 小林鋳造株式会社と合併。
- 平成 4年 11月** (財)素形材センターより第7回素形材産業環境優良工場として表彰を受ける。
- 平成 6年 4月** 下水道用資器材製造工場に認定される。
- 平成 7年 11月** 平成7年度工業標準化実施優良工場として中部通商産業局長より表彰を受ける。
- 平成 8年 12月** 品質マネジメントシステム規格「ISO 9001」の認証を取得。
- 平成 9年 3月** 名古屋証券取引所市場第二部に上場。
- 9月** 環境マネジメントシステム規格「ISO14001」の認証を取得。
- 平成 14年 3月** 2001年度三重県経営品質賞奨励賞を受賞。
- 平成 15年 3月** 2002年度三重県経営品質賞優秀賞を受賞。
- 平成 18年 11月** 新JISマーク表示制度に基づき、JIS表示の認証を取得。(JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品)
- 令和 4年 2月** 創業100周年を迎える。
- 3月** 豊田悟志が社長に就任。
- 4月** 名古屋証券取引所の市場区分の見直しにより市場第二部からメイン市場へ移行。
- 7年 1月** 労働安全衛生マネジメントシステム規格「ISO 45001」の認証を取得。

■経営上のキーワード

カネソウでは「快適をかたちに」をミッションとして、環境保全を推進しながら、建物の防災ニーズへの対応、景観整備を含めた都市環境の快適化、高齢化社会における安全で安心して暮らせるまちづくりなどに貢献して参ります。

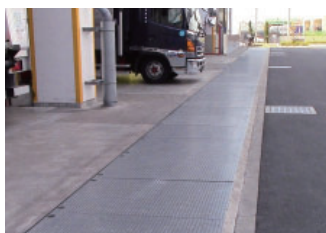


●防災ニーズへの対応

近年、住環境に対しての防災ニーズが急速に高まっています。カネソウでは、地震や不同沈下による建物の損壊を防ぐエキスパンションジョイントを昭和59年より提供してきました。さらにここ数年、地震時における建物の安全性に対する要求が高まり、その着工件数が増えている免震構造建築に対し、専用のエキスパンションジョイントを開発・製造し、庁舎、病院、マンション、物流倉庫など多くの建物に納入しています。また、木造住宅用の耐震補強装置など防災ニーズにお応えしています。

●都市環境の快適化

生活圏の快適さを高めるため、都市環境の整備はこれからも増えていくと思われます。誰もが安心して暮らせる安全で快適な都市環境づくりは、社会ニーズとして求められています。カネソウでは、歩行者の安全性を確保すると共に、意匠にこだわった製品を開発。歩行者の転倒事故を未然に防ぐノンスリップタイプのみぞ蓋、ベビーカーや杖がスムーズに通過できる、すきまの小さいタイプの各種みぞ蓋や、歩道と車道の分離を図るための車止めなどを提供しています。



●福祉のまちづくりへの貢献

高齢化社会を迎え、住まいや周辺の生活環境が変わりつつあります。安心して通行できる幅の広い歩道、段差の少ない歩行環境など、高齢者や障害者にも配慮された快適な福祉の街づくりが多くなってきました。

カネソウでは車椅子やベビーカーの通行をスムーズにする細目タイプのみぞ蓋、視覚障害者誘導用のマーカーを用意して、これらのニーズにも応えています。



●環境保全の推進

地球環境の保全は、人類にとって大きなテーマです。

カネソウでは、人が生活していくうえで必要な環境保全にも役立ちたいと考えています。太陽光発電システムを建物に設置するための製品や、建物に降り注いだ雨水を、清掃やガーデニングなどの水撒き用の水として貯えておく雨水利用システム、再利用可能なリサイクルウッド材を使用したみぞ蓋など環境に配慮した製品を開発しています。

●人と緑の共生

都市部において、ヒートアイランド現象やCO₂の増加が問題となっている現在、都市部における緑化の推進、人と緑の共生が重視されています。カネソウでは、都市部において、より有効に緑地面積を増やす屋上緑化・壁面緑化をサポートする製品を提供。また、公園や歩道、建築外構における緑化・造園関連製品として、路面の有効スペースを確保しながら樹木の根元を踏圧から守り、水分の吸収や通気を確保する樹木保護蓋や植栽柵用見切材を供給しています。



■環境マネジメントシステム

●ISO14001審査登録

今、地球温暖化や廃棄物処理、水質汚濁など地球環境への大きな課題が取りざたされています。カネソウもこうした環境に与える影響を最小限に抑えるため、また環境保全活動を企業の活動として定着し発展させるために、平成9年9月、全社（支店、営業所も含む全サイト）で環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、現在も維持しています。



●法規制等の順守

環境に関する全ての法律、規制、条例、協定を順守するため、管理部と環境管理責任者が関連法規制、その他要求事項の一覧表である「法規制等登録簿」を作成し常に最新情報の収集・管理を行っています。省エネルギー法、廃掃法などに基づく報告や届出も期限内に速やかに実施しています。法規制への順守状況については環境管理責任者がチェックリストに基づいて確認し経営層へ報告しています。

●環境管理マニュアルの公開

環境管理マニュアルを弊社ホームページ上で公開しています。カネソウの環境への取り組みを認識していただくと共に、これから取り組まれる企業の方に参考事例としていただくことで、環境への取組みが更に広がると考えています。

●品質方針・環境方針

基本理念に基づいて、品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を進め、業務の効果を監査を推進します。

1.継続的改善

品質監査・環境監査・マネジメントレビューを行い、品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムの改善を継続的に行い、品質パフォーマンス・環境パフォーマンスを向上させます。

担当者に権限を委譲し、コミュニケーションからの気づきを大切に、継続的な改善活動を推進します。毎日の業務進捗確認から問題点を抽出し、改善を進めます。

2.リサイクル

リサイクルが可能な、またはリサイクルしやすい商品を開発します。

3.ライフサイクル思考

全ての活動においてライフサイクル思考を取り入れます。

4.汚染抑制

製造プロセスおよび関連する活動における汚染の発生を最少限に抑えます。

5.発明の奨励

社員の職務発明を奨励します。

6.JIS表示認証工場として維持管理を継続します。

7.下水道用資器材製造認定工場として維持管理を継続します。

8.生産性向上を目的とした多工程持ちを推進します。

品質方針と環境方針に掲げる上記8項目について、継続的な改善を進め、業務の効果を監査します。

—本方針は公開するものである—
代表取締役社長 豊田悟志

■環境保全活動

●産業廃棄物の削減

工場内での発生抑制、分別に努め、埋立処分量は前年より減少しましたが、総排出量は前年より増加しました。

生産工場がある本社・朝日工場では、廃棄物（有価物、一般廃棄物、産業廃棄物）

について69種類の分別を行っています。事務部門である本社管理棟内では「紙類」を10種類に分別しています。

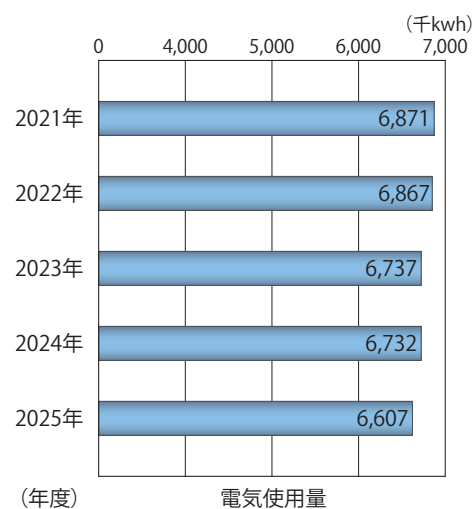
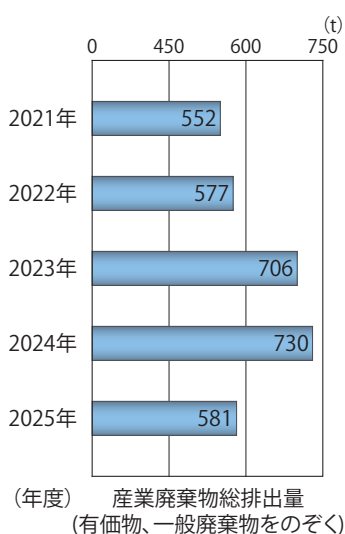
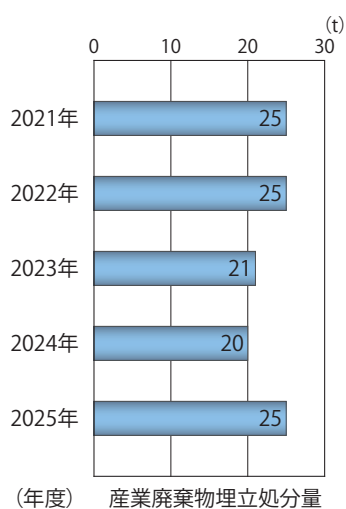
適正に細かくリサイクルしやすい状態にして分別を行うことでリサイクルを推進しています。



●電気使用量の抑制

カネソウは第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。エネルギー使用量の大部分が電気であり、電気使用量の削減が即座に、CO₂削減に繋がります。

時差出勤や生産時間の調整による、電気使用量の抑制と平準化、省エネ型電気炉への更新、エコオフィス（空調温度の制限、未使用時消灯、本社事務所棟内の個別消灯、LED照明器具の使用）の推進を進めました。工場内照明は、順次LED照明器具への更新を行っており、更に集じん装置の見直し等により電気使用量の抑制につなげます。



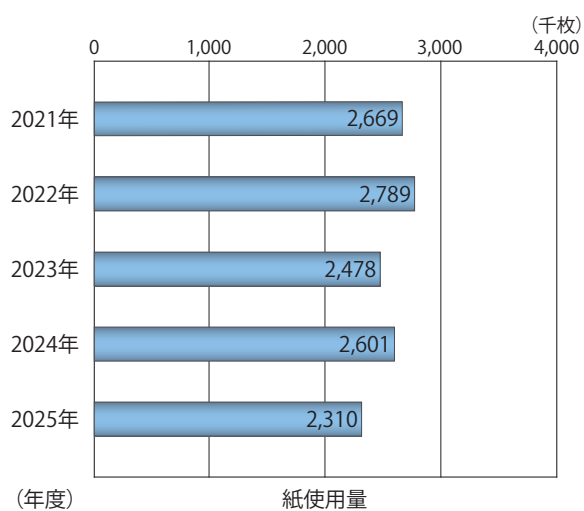
2025年度の産業廃棄物埋立処分量は25トン（2024年度：20トン）で、産業廃棄物総排出量581トン（2024年度：730トン）に占める割合は4.3%です。

CO₂排出量(ton-CO₂)
 2021年度：2,939 2024年度：2,925
 2022年度：3,232 2025年度：2,801
 2023年度：3,090

■環境保全活動

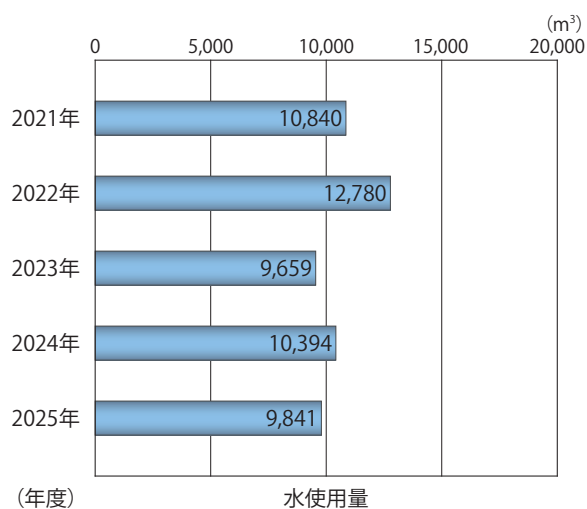
●紙の使用量削減

各種社内資料のデータやEメールなどは、モニターでの確認にとどめ、極力出力しないようにしています。また片面だけ使用されたコピー用紙のうち、裏面の使用可能なものについて裏紙として再利用し、紙の減量に努めており、使用量は前年度より減少しています。今後はペーパーレス化にも取り組み、紙の使用量削減に繋がります。



●水の使用量削減

铸造用水としての使用が多くを占めており、電気炉の冷却方法の改善や水漏れ箇所の改修を行っています。



●ハイブリッドカー・省エネ車

社用車は支店・営業所を含め現在、ハイブリッドカーを8台と、省エネ車を2台所有しており、今後も環境配慮・低燃費車両への入れ替えを予定しています。



●グリーン調達

主に事務用品を購入する際、コストだけではなく環境負荷ができるだけ少ない物品を購入しています。購入に際しては公益財団法人日本環境協会監修の「エコマーク商品データベース」を参考にし、各メーカーカタログのエコ商品を選定するように努めています。



社内には現在、フォークリフトが39台あります。内、30台にバッテリー式、9台にLPG式を採用しています。



バッテリー式フォークリフト



LPG式フォークリフト

●PRTR報告制度

PRTR法では、第一種指定化学物質の取扱量が年間1トン以上、その中の特定第一種指定化学物質の取扱量が0.5トン以上の場合に届出義務がありますが、カネソウでは平成13年の法制定以降、届出義務となる量の取扱いはありません。しかし有機溶剤系の塗料を一部、水性塗料へ移行するなど更なる削減を行っています。

PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

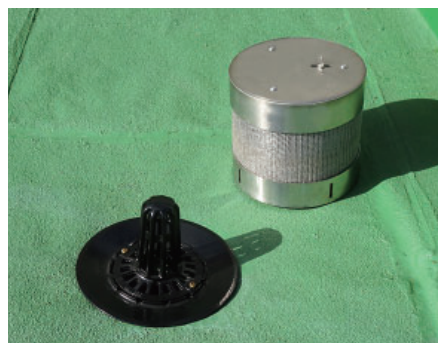


●開発・設計の環境配慮

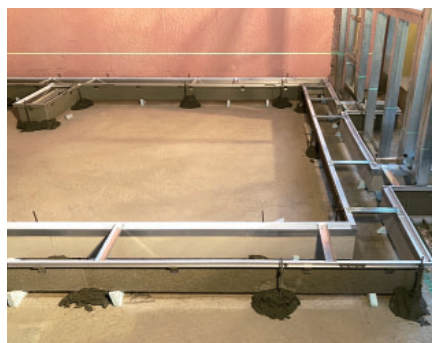
【製品アセスメント】

製品開発時には「製品アセスメントチェックシート」を活用し、開発する製品が環境に配慮していることを次の7項目について、それぞれに細かく確認しています。

- 製品が使用された後の再利用の容易化
- 製品が使用された後の分解・分離の容易化
- 製品が使用された後の部品等の分別の容易化
- 最終処分時の安全性の確保
- 製品の減量化 ○製品の長期使用化 ○包装材の減量化



火山灰対策用ハイフィルターキャップ
富士山噴火を想定した降灰対策用のルーフドレンキャップです。有事の際、建物の雨水排水管への火山灰の流入を防ぎます。



無型枠工法製品

ピットの形成を簡略化し、大幅な工期短縮を可能にする工法です。木製型枠不要で廃棄もなく、環境保全に貢献します。

●エコ通勤・温暖化対策

朝日町の呼びかけに応じて、カネソウを含む5社が「朝日町企業エコネット」を結成しエコ活動に取り組んでおり、2025年5月・10月にエコ通勤を実施しました。マイカー通勤者が90%以上と圧倒的に多い中、公共交通機関、オートバイ、自転車、徒歩による通勤を呼びかけ、結果としてのべ126名の社員がエコ通勤に取り組むことが出来ました。次年度も期間を定めて実施予定です。

2025年度のエコ通勤者：126名
2025年度のCO₂削減量：7752.17kg



【環境配慮製品】

カネソウが創業当時から製造している鋳鉄は、それ自体がリサイクルできるエコ材料ですが、その他にも、リサイクル素材を使用した製品、雨水利用を目的とした製品、防災の分野でお使いいただく製品など、素材、用途、製造工程のそれぞれで環境に配慮した製品をラインナップしています。



物流施設向けエキスパンションジョイント
国際海上コンテナ車などの大型特殊車両が乗り入れ可能です。長期間の使用に耐える強化構造タイプです。

■社会的な取組み

●献血活動

献血活動は社会貢献活動として、毎年2回実施しており、実施条件を満たした社員が参加しています。今年も、三重県赤十字血液センター様から献血バスが本社・朝日工場を訪れ、感染症対策を施したうえで、計32名に協力して頂きました。今後も、毎年2回の協力を継続していきます。



●会社説明会・見学会

本社・朝日工場付近の各学校様にご機会を頂き、場所をお借りして会社説明会を実施しています。夏には、職場見学会も実施し、歴史ある鋳物製品が、どのようにして出来上がるのかを見ていただき、「地元企業」であるカネソウにご興味いただけることを期待しています。また、三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科様との協働パートナーとして、学生の皆様への「ものづくり」に対する学びの場を提供しています。



●地域防犯活動

地域安全活動推進モデル事業所に指定され、地域防犯活動を継続しています。本社・朝日工場の敷地内に防犯ポスターや地域安全啓発旗を設置し、社員及び、地域の皆様の意識高揚に繋がっています。



●交通安全運動

年間を通じた交通安全運動、各季に実施される全国及び県民運動等のポスターや立看板を、本社・朝日工場の敷地内に設置し、社員の交通安全に対する意識高揚に努めています。また、本社・朝日工場の駐車場に交通安全旗を設置し、地域の皆様・走行中のドライバーへの交通安全意識高揚を呼び掛けています。



●AED(自動体外式除細動器)設置

社員、お客様の緊急事態に対応出来るよう、本社・朝日工場内にAEDを5台設置しています。正門にはAED設置表示を行い、地域の皆様の要請にも対応出来るよう、日本全国AEDマップ及び財団全国AEDマップへの情報提供を行っています。



●防災訓練

秋の全国火災予防運動に合わせ、本社・朝日工場内にて自衛消防組織による消火器・消火栓の取扱い訓練を実施し、地域防災にも繋がっています。また、朝日川越分署様ご指導の下、地震発生を想定した避難訓練も実施し、日々の防災意識高揚に繋がっています。



■安全衛生活動

●健康経営

社員全員に定期健診を実施しています。再検・要精密検査対象者には、管理部がその経過をフォローすることで、早期発見・治療に繋がっています。35歳以上の社員には、生活習慣病予防健診の受診を積極的に取り入れ、偶数年齢にあたる女性社員には、希望者に対し婦人科検診の導入、特定保健指導対象者には、三重県産業衛生協会様と連携を取り、面談等を実施しています。また、社員へ定期的な運動機会の提供を目的として毎朝ラジオ体操を実施、インフルエンザ予防接種を希望者に対し費用補助、さらには健康に関する社内相談窓口を設け、社員が安心して働くことの出来る環境づくりを積極的に継続します。



定期健診



ラジオ体操

●安全衛生活動

安全衛生活動は、安全衛生委員会を中心に活動しています。安全衛生パトロールと安全衛生委員会を通じて、危険箇所・作業の洗い出しとその対策、改善、意見交換を行い、安全・安心な職場づくりに取り組んでいます。

全社員への安全教育にも力を入れ、毎年、ヒヤリハット活動やリスクアセスメントを実施することで、危険作業・行動の洗い出しを徹底、新入社員には危険予知トレーニングを実施、資格を要する社員には外部講習への参加を指示しています。令和7年1月、全社で労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格ISO45001の認証を取得し、今後のゼロ災職場を強化し続けます。



安全衛生パトロール



リスクアセスメント講習

■ご意見・ご感想をお寄せください

「環境・社会報告書 2025年度版」を最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

本報告書は、弊社が取り組んできた内容をお知らせするもので、具体的な事例や実績数値をもとに少しでも皆様にご理解いただけるように努めました。内容的にはまだまだ不十分な点もありますが、皆様からお寄せいただく貴重なご意見を、今後の活動の参考とさせていただきたいと考えております。よろしければ、弊社開発営業部 提案営業担当まで、ご意見・ご感想をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

カネソウ株式会社 開発営業部 提案営業担当

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生 8 1 番地

<TEL>059-343-3500 <FAX>059-343-3501

【E-mailアドレス】info@kaneso.co.jp

惣カネソウ株式会社

本社所在地 〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
TEL 059-377-4747 FAX 059-377-5684

- ホームページアドレス <https://www.kaneso.co.jp>
- Eメールアドレス info@kaneso.co.jp

〈名古屋証券取引所 メイン市場 上場 証券コード5979〉



環境マネジメントシステム (ISO 14001) 審査登録
品質マネジメントシステム (ISO 9001) 審査登録
労働安全衛生マネジメントシステム (ISO 45001) 審査登録



MS
CM009



ISO14001
JQA-EM7707



ISO9001
JQA-QMA16409



JQA-OH0419

日本産業規格表示認証工場 (認証番号 JW0406002)
下水道用資器材製造認定工場 (認定番号 112402)